

農協だより

Vol.75

URL: <http://www.ja-aki.jp>

平成24年11月

米集荷状況！



広島県での9月15日現在の水稻の作況指数は102となっており、10a当たり予想収量は、535kgと発表され『やや良』とされています。

JA安芸では9月28日から米の集荷検査を行っておりますが、10月25日現在で7,209袋と昨年に比べて非常に多い集荷状況になっています。品質は8月中旬以降、日中は気温が高く夜温が低い天候となり米にとって好天が続き平年より登熟(実の充実)が良くなっており、例年、心配されている心白粒や乳白粒が少なくなっています。その為、一等米比率6割弱と昨年より高くなっています。



アグリパークの利用状況

農業の楽しさ、大変さを感じて農業への理解を深めていただくために行っているアグリパーク事業が平成24年9月現在、末田、川原地、野間、荒野、平原、瀬野、呉地、神田、浜角の9菜園を開園しており、総区画数は544区画で利用区画数が512区画となっています。

活菜倶楽部

活菜倶楽部会員の皆様におかれましては、毎日出荷に励まれていることと思います。平成24年9月末の実績を報告いたします。販売実績41,655千円、会員数176名4~9月の集客数約157,736人でした。下半期もよろしくお願いたします。

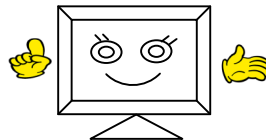
柿を作りましょう

今年度「安芸東部技術部会」が事業主体になって事業名「柿を作りましょう」で柿苗の注文とりまとめをした結果、6名の生産農家より43本の注文がありました。9月20日に新植について指導を行いました。11月には、定植する予定です。

電子図書の利用

「こんにゃくを栽培して大きな芋ができたがどうやって食べる状態のこんにゃくのするのか？」と相談にいられました。早速、電子図書により、こんにゃくの作り方を調べたところ作り方が解り大変喜んでいただきました。

また、ショウガがたくさん収穫できたので保存の方法を調べられました。乾燥粉末にすると1年間保存ができて色々な料理に利用できます。ショウガは洗って薄切りにして酢を少々加えた熱湯で3~4分茹でて引き上げ、ザルに広げて一週間陰干しする。(よく乾燥させる)それをミルにかけて粉にして繊維があるのでふるいにかけて除きビンに入れて保存する。料理の時に粉末を入れて使う。



黒えだまめオーナー

今年、阿戸地区に1カ所、熊野地区に1カ所の黒えだまめオーナー圃場を設置して320区画の販売をいたしました。今年の天候は、6月中旬から7月上旬にかけて気温が下がりましたが、その後10月まで平年より高く推移し、今年も暑い夏から秋になりました。降水量は、7月中旬から10月まで晴れの日が多く雨の少ない年になったのと(早魃ではなかった)台風が来なかったことで、米、大豆ともに豊作になったようです。草丈は1mを超え、1株重は2kg前後、実の黒えだまめは1株で1kg前後となり、昨年に比べて大変良くできました。天候には勝てませんが、言うまでもなく生産者の栽培管理のたまものだと思います。黒えだまめのオーナーになった方は、管内居住の方はもちろんですが広島市8区、府中町、廿日市市、呉市、東広島市、大竹市等大変広い地区から参加していただきました。生産者宅へ届いた手紙の一部を紹介させていただきます。「今までの枝豆はなんだったのかと、長生きしたような気分です。本当にありがとうございました。」お客様との交流で生産者も元気をもらい来年もがんばって黒えだまめを作ると言っておられました。



蜜蜂を飼育する方へ

~「蜜蜂飼育届」の提出が義務づけられます。~

平成25年1月1日に改正養蜂振興法が施行されます。蜜蜂を飼育する場合は、その年の飼育計画などを記入した「蜜蜂飼育届」を、毎年1月末までに、都道府県へ提出する必要があります。趣味で飼育する場合も提出が必要です。(手数料はかかりません。)

なお、園芸作物の花粉交配用に飼育する場合など、届出が不要な場合もありますので、詳しくは、県庁畜産課または県畜産事務所へお問い合わせください。

[お問い合わせ先 県庁畜産課 082-513-3604 県西部畜産事務所 082-423-2441]

広島県ホームページ [\[蜜蜂飼育届 \]](#) で検索

11月

営農メモ

野菜

今月はたまねぎ、春キャベツの苗の定植やほうれんそうなどの播種が行えますが、苗の定植の際はネキリムシ等の被害が予想されますので登録のある粒剤を処理しておくことで被害の軽減になります。

ほうれんそう 育苗センターでは露地でここ数年 12月1日にソロモンをホーリーシートに2粒/穴播種し、播種後ユーラックで被覆し2月25日前後に収穫していますが、この頃よりほうれんそうの価格が日に日に安くなりますので、10月下旬より10日間隔で播種しておけば比較的価格の良い1~2月に継続して収穫出来る様になると思いますので圃場が空いていれば栽培してみてください。

11月中旬までは保温は不要ですが、下旬頃よりは生育促進のため播種後から必要となります。品種は塔立ちしやすい時期となりますので晩抽系の品種を使用し、生育期間が長い場合播種後より30日に1回は追肥を行います。

果樹

果樹1本当たり施肥量の目安(年間)

有機配合・有機化成(窒素 8 - リン酸 8 - カリ 8)を施用する場合の施肥量(単位:kg)

樹令 種類	1年	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15年 以上	施肥時期・割合
モモ	0.4	0.6	0.8	1.5	2.0	2.5	3.5	4.5	5.5	6.0	6.5	7.0	7.0	7.0	7.0	11月上旬80% 9月下旬20%
スモモ	0.3	0.4	0.5	1.0	1.3	2.0	3.0	3.8	4.5	5.0	5.5	6.3	7.0	7.5	7.5	" "
ウメ	0.4	0.6	0.8	1.0	1.3	2.0	3.0	3.8	4.5	5.0	5.5	6.3	7.0	7.5	7.5	" "
アンズ	0.4	0.6	0.8	1.0	1.3	2.0	3.0	3.8	4.5	5.0	5.5	6.3	7.0	7.5	7.5	" "
オウトウ	0.3	0.4	0.5	1.0	1.3	2.0	3.0	3.8	4.5	5.0	5.5	6.3	7.0	7.5	7.5	" "
リンゴ	0.5	1.3	2.0	2.8	3.8	4.5	5.5	6.5	7.0	7.5	8.0	8.8	9.5	11.0	12.5	11月50% 3月30% 9月10%
ナシ	0.5	1.3	2.0	2.8	3.8	4.5	5.5	6.5	7.0	7.5	8.0	8.8	9.5	11.0	12.5	1月60% 3月10% 5月下旬20% 9月10%
カリン	0.3	0.4	0.5	1.0	1.3	2.0	3.0	3.8	4.5	5.0	5.5	6.3	7.0	7.5	7.5	" " " "
ビワ	0.4	0.6	0.8	1.0	1.3	2.0	3.0	3.8	4.5	5.0	5.5	6.3	7.0	7.5	7.5	9月上旬50% 2月下旬30% 5月下旬20%
ミカン	0.5	0.8	1.0	1.3	1.5	1.8	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.3	1年生~4年生は、3,4,5,7,9,10月の6回に分施 5年生~8年生は3月下旬50%、6月上旬25%、11月上旬25% 9年生以上は3月下旬40%、6月上旬17%、11月上旬43%
イチジク	0.4	0.6	0.8	1.0	1.3	1.5	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	12月上旬60% 3月下旬40%
カキ	0.5	1.0	1.3	1.5	1.8	2.5	2.0	3.8	4.5	5.0	5.5	6.3	7.0	7.8	8.8	12月上旬60% 6月下旬20% 10月下旬20%
ブドウ	0.4	0.6	0.8	1.0	1.3	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.0	5.0	12月上旬60% 6月上旬20% 9月中旬20%
クリ	0.4	0.6	0.8	1.0	1.3	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	12月上旬50% 7月上旬25% 9月下旬25%
ナシフルーツ	0.4	0.6	0.8	1.0	1.3	2.5	3.5	4.5	3.0	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	12月上旬60% 6月上旬20% 9月中旬20%

備考

施肥方法(1)12月に施用する基肥は樹冠下全面に散布し、中耕しましょう。
(2)追肥は樹冠下に全面散布し、除草を兼ねて軽く土と混ぜる程度としましょう。
(3)有機物の施用は毎年場所を変えてタコツボ又は条溝に埋め込むと有効です。
肥料は茶碗1杯、約0.2~0.25kg(6にぎり)です。

肥料成分が窒素10%複合肥料では表中数字に0.8倍した値が施肥量です。
また、窒素6%複合肥料では、1.3倍した値が施肥量となります。